

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月20日 (2018.12.20)

【公開番号】特開2018-88655(P2018-88655A)

【公開日】平成30年6月7日 (2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2018-021

【出願番号】特願2016-232019(P2016-232019)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 21/854 (2011.01)

H 0 4 N 21/24 (2011.01)

G 1 1 B 27/031 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 N 21/854

H 0 4 N 21/24

G 1 1 B 27/031

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月9日 (2018.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するため、本発明に係る動画像編集装置は、
編集対象の動画像から、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する検出手段と、

前記検出手段により所定の感情が検出された時間的位置とは異なる時間的位置である、
前記動画像を編集する時間的位置を特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的位置に編集処理を施す編集手段と、

を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画像編集装置であって、

編集対象の動画像から、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する検出手段と、

前記検出手段により所定の感情が検出された時間的位置とは異なる時間的位置である、
前記動画像を編集する時間的位置を特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的位置に編集処理を施す編集手段と、

を備えることを特徴とする動画像編集装置。

【請求項 2】

前記検出手段は、前記編集対象の動画像に含まれる音声部分から当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出し、

前記特定手段は、前記所定の感情が検出された時間的位置とは異なる時間的位置である、前記動画像を編集する映像の時間的部分を特定し、

前記編集手段は、前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する映像の時間的部分に編集処理を施すことを特徴とする請求項 1 に記載の動画像編集装置。

【請求項 3】

動画像編集装置であって、

編集対象の動画像に含まれる画像と音声のうち音声のみから、当該動画像に記録されている人物の当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に応じて、前記動画像を編集する時間的部分を特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的部分に編集処理を施す編集手段と、

を備えることを特徴とする動画像編集装置。

【請求項 4】

前記特定手段は、前記検出手段により所定の感情が検出された時間的位置とは異なる時間的位置である、前記動画像を編集する映像の時間的部分を特定し、

前記編集手段は、前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する映像の時間的部分に編集処理を施すことを特徴とする請求項 3 に記載の動画像編集装置。

【請求項 5】

動画像編集装置であって、

編集対象の動画像から、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する検出手段と、

前記検出手段による検出結果に応じて、前記動画像を編集する時間的部分を特定する特定手段と、

前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的部分に、編集の効果が時間的に変化する編集処理を施す編集手段と、

を備えることを特徴とする動画像編集装置。

【請求項 6】

前記特定手段は、前記検出手段により所定の感情が検出された時間の長さとは異なる時間の長さの時間的部分を、前記動画像を編集する時間的部分として特定することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 7】

前記検出手段によって検出し得る感情が複数種類設定されているとともに、当該感情の種類に応じた前記動画像を編集する時間的部分の特定態様が設定されており、

前記検出手段は、前記感情を検出した際の当該感情の種類を更に検出し、

前記特定手段は、前記検出手段によって検出された前記感情の種類に対応する前記特定態様に基づき、前記動画像を編集する時間的部分を特定することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 8】

前記検出手段によって検出し得る感情が複数種類設定されているとともに、当該感情の種類に応じた動画像の編集態様が設定されており、

前記検出手段は、前記感情を検出した際の当該感情の種類を更に検出し、

前記編集手段は、前記検出手段によって検出された前記感情の種類に対応する前記編集態様に基づき、前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的部分に編集処理を施すことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 9】

前記検出手段は、前記感情を検出した際の当該感情の度合いを更に検出し、

前記編集手段は、前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的部分に、前記検出手段によって検出された前記感情の度合いに応じた編集処理を施すことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 10】

前記編集手段は、前記特定手段によって特定された前記動画像を編集する時間的部分に、編集の効果が時間的に変化する編集処理を施すことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 11】

前記編集手段は、前記編集の効果が時間的に変化する編集処理として、当該効果が漸次変化する編集処理、又は編集する元の動画像とは異なる時間の流れとなる編集処理を施すことを特徴とする請求項 5、6、10 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 12】

前記編集手段は、前記動画像のうちの前記編集処理を施した時間的部分を、元の動画像の当該編集処理の対象として特定された時間的部分と置き換えることを特徴とする請求項 1 ～ 11 のいずれか一項に記載の動画像編集装置。

【請求項 13】

編集対象の動画像から、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する処理と、

所定の感情が検出された時間的位置とは異なる時間的位置である、前記動画像を編集する時間的部分を特定する処理と、

特定された前記動画像を編集する時間的部分に編集処理を施す処理と、
を含むことを特徴とする動画像編集方法。

【請求項 14】

編集対象の動画像に含まれる画像と音声のうち音声のみから、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する処理と、

前記人物の感情の検出結果に応じて、前記動画像を編集する時間的部分を特定する処理と、

特定された前記動画像を編集する時間的部分に編集処理を施す処理と、
を含むことを特徴とする動画像編集方法。

【請求項 15】

編集対象の動画像から、当該動画像に記録されている人物の、当該動画像を記録している時の所定の感情を検出する処理と、

前記人物の感情の検出結果に応じて、前記動画像を編集する時間的部分を特定する処理と、

特定された前記動画像を編集する時間的部分に、編集の効果が時間的に変化する編集処理を施す処理と、

を含むことを特徴とする動画像編集方法。